

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム橙園

(ユニット名) サルビア

記入者(管理者)

氏名 有馬 房子

評価完了日 平成 19 年 12 月 3 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月21日

【評価実施概要】

事業所番号	3870400425		
法人名	(有)ファミリーエ		
事業所名	グループホーム橙園		
所在地	八幡浜市保内町宮内1番耕地583番1 (電話) 0894-36-3722		
管理者	有馬 房子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年12月5日	評価確定日	平成19年12月21日

【情報提供票より】 (平成19年11月1日事業所記入)

(1)組織概要					
開設年月日	平成17年3月28日				
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人		
職員数	21人	常勤	12人, 非常勤 9人, 常勤換算 14.1人		
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)					
家賃(平均月額)	30,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる		
敷金	有(円) (無)				
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無		
食材料費	朝食	150円	昼食	300円	
	夕食	500円	おやつ	50円	
	または1日当たり			円	
(3)利用者の概要 (平成19年11月1日現在)					
利用者人数	18名	男性	5名	女性	13名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	7名	要介護4	3名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 84.5歳	最低	72歳	最高	94歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算					
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護				
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護				
届出 (あり)・(なし)	短期利用共同生活介護				
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算				

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>職員は利用者個々の睡眠のリズムや体調等にも配慮し、ご本人のペースで生活できるよう支援されている。午前中、併設デイサービスで体操することが日課となっている方もおられ、一日のリズムが作られている。</p> <p>市主催のグループホーム連絡会で他グループホームと意見交換をされたり、事業所の夏祭り等にも他ホームの職員、利用者が参加される。さらに、職員研修の受け入れや見学、運営推進会議時にも、他のホーム職員が相互に出席をされている。</p> <p>事業所では、災害時の避難訓練の回数を重ね、利用者から「ぼうくうずきん」が必要ではないかという声があり作成された。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・事業所では、地域の人達にさらに事業所の意義や役割を理解していただき、認知症のことを知っていただけるよう公開職員研修や運営推進会議、認知症サポーター養成講座等も実施された。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・サービス評価のガイドブック等を参考にされながら、ユニットごとに職員で自己評価を作成され、ケアマネージャーがまとめられた。職員は、自己評価の機会に自分自身が行っているケアの振り返りをされた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・事業所では、地域の為にできることは行っていくという姿勢で地域の方とかわっておられ、地域の行事等にも積極的に参加され、お手伝い等もされている。地区の区長、婦人会の方達も参加され、事業所の取り組みに対して理解が深まり「認知症に対するイメージが明るくなった」と話されている。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・夏祭りやお月見会等、事業所の行事の際には、ご家族も参加をされており、ご家族同士で交流する機会がある。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・地域のボランティアの方が多く訪れ、利用者とも交流をされている。地域の方達個々々のお付き合いを大切にされている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<p>(自己評価)</p> <p>心身の障害があっても私らしく、あなたらしく豊に人としての尊厳を守る介護</p> <p>(外部評価)</p> <p>「人としての尊厳を守る介護」を事業所の理念を揚げ、地域と共存する事業所を目指し取り組まれている。</p>		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>理念に添ってケアが出来るように職員間で話し合い、確認しあってケアに活かせるよう努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>法人代表者やケアマネージャーは、事業所の理念に沿った介護計画の作成やケアを行えるよう日々、話しておられる。</p>		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> <p>定期的に運営推進会議を開きご家族、地域の方に取り組みを伝え研修会を開いて報告している。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) ・近所の方が園の中道を通られるときお互いに挨拶を交わし入居者さん達にも声をかけてくださる。 ・園の周りで出会う人にはこちらから笑顔で挨拶を心がけている		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) ・行事ごと(お祭り、神社の清掃など)に入居者の方と共に職員も参加している。 ・地域の盆踊りに参加し踊りの輪の中に利用者の方と共に積極的に参加している (外部評価) 地域のボランティアの方が多く訪れ、利用者とも交流をされている。地域の方達個々のお付き合いを大切にされている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 介護についての相談も施設で受けられることを伝えている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 前回の外部評価での改善点などはすぐに職員で話し合い取り組んだ。 (外部評価) サービス評価のガイドブック等を参考にされながら、ユニットごとに職員で自己評価を作成され、ケアマネージャーがまとめられた。職員は、自己評価の機会に自分自身が行っているケアの振り返りをされた。事業所では、地域の人達にさらに事業所の意義や役割を理解していただき、認知症のことを知っていただけるよう公開職員研修や運営推進会議、認知症サポーター養成講座等も実施された。		さらに、今後のカンファレンス時には、サービス評価を実施して気付いたことについて話し合い、事業所のさらなる質の向上に向けて取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			取り組みを報告し、そこでの意見を記録しカンファレンス時に職員に報告している。 ケアに反映できるよう話し合いをしている。		
			(外部評価)		
			事業所では、地域の為にできることは行っていくという姿勢で地域の方とかがわっておられ、地域の行事等にも積極的に参加され、お手伝い等もされている。地区の区長、婦人会の方達も参加され、事業所の取り組みに対して理解が深まり「認知症に対するイメージが明るくなった」と話されている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			どうすれば質の向上に繋がるのか...ヒントをFAXなどを使い一緒に考えていただいている。		
			(外部評価)		
			介護相談員の受け入れを行っている。市主催のグループホーム連絡会等に出席し、意見交換をされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修に参加しカンファレンスだ職員に報告している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員間でケアのことでの悩みを相談しあったり上司に相談して一緒に考えている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所前の相談から安心してご利用していただけるよう説明を行い理解・納得して署名押印をしていただいている		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の方にも運営推進会議の参加してもらっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月生活の様子が分かるような写真や行事予定表を送っている。 健康状態の変化が有れば電話連絡をしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪が多くあり、日々の様子を見ていただいたり、又、ご家族の安心に配慮し、ご本人の健康状態、薬のことや体重の変化、金銭面のことについても定期的、又、随時、詳細に報告をされている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情箱を玄関に設置。 苦情があれば、早急に対応するようになっている。		
			(外部評価) 夏祭りやお月見会等、事業所の行事の際には、ご家族も参加をされており、ご家族同士で交流する機会がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 業務カンファレンスの際に話し合っている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 受診時には職員が同行している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) ・ユニットの職員はなるべく固定している。 ・馴染みの職員によるケアを心がけている。 ・新しい職員もまず利用者の方と打ち解けるように助言している。		
			(外部評価) 職員は、新しく入った職員の方に、利用者個々についての情報やケアについてアドバイスをされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修等には積極的に参加できるように勤務調整を行っている。 キャリアに応じた研修を受けている		
			(外部評価) 法人代表者やケアマネージャーは、日々職員と共にケアに取り組み、事業所の理念に沿ったケアを行なっているかということ職員に問いかけながら牽引しておられる。		事業所では、現在、介護計画に沿ったケアの提供、又、記録の書き方等について改善に取り組んでおられる。さらに、これまで外部研修等で得た知識や技術を実践に活かしていけるよう、取り組んでいきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			春のお花見や、夏祭りに声をかけ、職員の交流も行っている。 地域のグループホームからの施設見学や研修に対しても積極的に受け入れを行っている。		
			(外部評価)		
			市主催のグループホーム連絡会で他グループホームと意見交換をされたり、事業所の夏祭り等にも他ホームの職員、利用者が参加される。さらに、職員研修の受け入れや見学、運営推進会議時にも、他のホーム職員が相互に出席をされている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			年に何回か職員全員の食事会がある。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			困ったことがあれば相談しアドバイスをもらっている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			個々人とは長い時間話すことが多い。相手の話はなるべく満足していただけるようにこちらからも問いかけしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 電話連絡や面談にてよく話を聞くようにしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談の内容に応じ必要であれば他のサービスを紹介し手いる		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) まず本人や家族が事業所を見学していただいている。併設にデイサービスがあるのでそちらの利用から馴染んでいただき入居となった方もいる。 (外部評価) 日頃から併設のデイサービスとの交流があり、デイサービスからの利用もある。入居間もない間、ご家族に頻繁に来ていただいたり、利用者同士で関係を作れるよう職員がさりげなく見守り、事業所に馴染んでいけるよう支援されている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 会話の中で昔の言葉食べ物など教えていただくことが多い。一緒に歌ったりすることで笑ったり、昔を思い出したり、時には涙ぐむこともある。 (外部評価) 利用者が人にプレゼントをあげたいと話されたことから、クリスマス会に利用者同士でプレゼント交換をされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事への参加を呼びかけご家族・ご本人・職員が相互にコミュニケーションが取れるよう心がけている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) ご本人が話されたことや出来事を伝えている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 当園の行事などは家族や友人、ご本人と馴染みの人に案内を出し楽しい時間を共有していただいている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) リビングでの食事の下ごしらえやテレビを見るなど職員も加わり利用者の方が馴染めるよう心がけている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院退所された方もその後の相談に応じている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			お誕生日にご本人の希望を聞いている。 家族の方の協力もある。		
			(外部評価)		
			事業所では、「その時々、その瞬間」の気持ちを大切にされており、買い物に行きたい等、その時の希望を大切に支援できるよう努めておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族からの聞き取り、利用サービス事業者からの情報提供により把握している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			「皆がしているから」ではなく個別にあわせ把握している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			ご本人、家族、の意向を基にケアカンファレンスで話し合いプランの作成を行っている。		
			(外部評価)		
			ご家族の要望や現場職員の気付きを採り入れ、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) ・2ヵ月後との状態のまとめを行いケアカンファレンスにて確認している。 ・3ヶ月に一度は状態の確認及び介護計画の見直しを行っている。 ・状態の急変時は随時のカンファレンスやにて変更している。		
			(外部評価) 3ヶ月ごとに見直しを行っておられる。又、ご本人の状態に変化のあった時には随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個別の介護記録とは別に気づき帳を作り情報を共有している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 当園外のサービスについての相談があっても要望に応じ対応している。		
			(外部評価) 認知症のことについての相談を受けることもある。又、併設のデイサービスで午前中は体操を一緒にされる方もいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 緊急時消防署や警察への協力依頼をマニュアル化している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価)		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価)		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) ・受診には看護師が同行している。		
			(外部評価) 利用者個々のかかりつけ医を受診されている。受診の際には、看護師が同行し、かかりつけ医と話し合う等、連携を図り支援されている。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 定期受診、状態変化があったときの受診も同行している		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が配置されており、更に医療連携の看護師がいるため医療機関と調整がスムーズである。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 家族の方が安心して医療機関を利用できるよう、病状の説明、施設利用についても入院前に確認している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所時に大まかな終末期の希望は聞き取っている。また状態の変化に合わせて家族には都度終末期の希望は確認している。 (外部評価) 事業所では、ご家族やご本人の希望を尊重し支援していきたいと考えておられ、ご本人の状態の変化時等、ご本人の思いをもとに、ご家族や医師等とも話し合っておられる。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 「重度化や終末期の指針」、「グループホーム内での医療行為」についても全職員に周知している。身障手帳の取得や訪問看護の導入に至ったケースもある。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族本人の了解のもと、介護情報などの提供をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々にあった声掛けをしている。 (外部評価) 職員は、利用者に対してやさしく対応されていた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 方言を使うなどご本人が理解しやすいよう工夫している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理強いはしない。時間を見計らって再度声掛けをする等している。 (外部評価) 職員は利用者個々の睡眠のリズムや体調等にも配慮し、ご本人のペースで生活できるよう支援されている。午前中、併設デイサービスで体操することが日課となっている方もおられ、一日のリズムが作られている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 鏡に向かってもらい洗顔、整髪など行っている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえ、盛り付け、配膳なども楽しく出来るよう、声掛けの仕方や会話の内容も配慮している。 (外部評価) 畑の野菜を使用されたり、利用者が食事作りにかかわること等で食欲を高められるよう配慮されている。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 飲み物の好みなどを聞き提供している。		
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 声かけに気を使っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴前に本人の意思や都合も聞きつつ入浴の支援をしている。(一番風呂が好きな方にははやめの声掛けを行っている。)		
			(外部評価)		
			ベッドで過ごすことが多いような状態の利用者も、職員2名で浴槽で温まれるよう支援されている。入浴を嫌がられる方には、声かけの工夫をされ、無理強いすることなく入浴していただけるよう支援されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			添い寝をして安心して休んでいただいている方もいる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			調理、裁縫、掃除など得意なことをしてもらっている。		
			(外部評価)		
			食事の準備をされたり、畑が眺められる東屋で過ごされたり、デイサービスと交流されている。スポーツ番組がお好きで、新聞で番組をチェックしておられる方もあった。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			自己管理できる方には自己管理していただいている。町の文化祭でのバザー等職員も付き添いお金を使うことの支援をしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			地域の行事に参加したり遠足の参加を促している。		
			(外部評価)		
			四季を楽しみに外出されたり、パンや牛乳を買いに出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			希望はあまりなく、職員が検討し利用者の方が楽しめるような場所への外出支援を行っている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			お礼状や挨拶状は馴染みの人に向けてやり取りが出来るよう支援している。 電話はいつでも取次ぎが出来、ご本人の希望があればダイヤルすることもある。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			気兼ねの内容個人の居室でお話していただいている。 ご家族によってはリビングで他の利用者の方とも一緒に会話を楽しまれたりされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束はしていない。 ベットからの転落防止には下に布団を敷いたり和室にて状態の観察をこまめに行っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 戸締りのみ。 職員が付き添う。 (外部評価) 玄関は鍵を掛けず、出かけられる方には職員がそっと見守り付き添っておられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 無断外出にて職員全員で捜索した経験を活かし、利用者の方の居場所確認はこまめに行っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 洗面台のハンドソープなどは「手を洗うもの」であることなどを近くにいて分かるよう援助している。 包丁などは使用したのちの届かない場所に保管する等している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 緊急時のマニュアルはいつでも分かりやすいように掲示している。 また朝、夕の申し送りにて状態の確認を行い観察の視点などを確認している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 避難・消防訓練にて消防署の方から講習を定期的を受けている。 緊急連絡網を作成し職員がすぐに動けるようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 昼夜それぞれの想定、火災、地震の想定して訓練を行っている。 緊急連絡網には施設の施工業者(地元の方)も含まれている。 地区の区長さんの協力もある。 地域放送(有線)を設置している。 (外部評価) いろいろな場面を想定して避難訓練を実施されている。共用空間には避難経路の案内図を掲示されている。訓練の回数を重ね、利用者から「ぼうくうずきん」が必要ではないかという声があり作成された。		
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族会議、ケアカンファレンスの内容を家族の方に説明し起こりえるリスクについて説明し、必要に応じ確認の印をお願いしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 介護記録だけではなく気づき帳を利用し状態の変化時は看護師・主治医に報告し情報を共有している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 必ず看護師の許、職員2で確認している。副作用、用量、用法なども看護師より説明を受けている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便の確認を行っている。水分や食事の偏り、運動にも配慮し、自然排便が出来るよう支援している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯磨き、うがいを促している。夜間は職員で管理している。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 量は少なくとも回数を多くして工夫している。ご本人が好まれるものにして摂っていただいている。 (外部評価) 併設デイサービスの栄養士が食事全般について管理をされており、給食委員会で職員とも話し合っておられる。居室でいつでもお茶を飲めるようにされている方もうかがえた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルがある。周辺の流行情報も早めに回覧などで職員には知らせている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>マニュアルがある。酸性水の機械を入れ食器など台所周りの清潔に努めている。 食品は長期間保存しないようこまめな買い物を行っている。</p>		
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1)居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>観葉植物や花壇、ベンチなどで雰囲気を作っている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共有の空間にはソファーや和室があり各々好きな場所で過ごしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>畑が眺められる場所に東屋がある。廊下の突き当たりに設置されている椅子に腰かけ、外を歩く人やみかん畑の様子を眺める方もおられる。食後に畳の間で横になり休まれる方もうかがえた。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファーや和室にてまたリビングのテーブルを囲んで楽しく談笑したりしている。 東屋にて静かに過ごす方もいる。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			写真や、家族からの手紙やポスター、カレンダーも好みで貼っている。		
			(外部評価)		
			タンスやベッドを持ち込まれている方や、ご家族の写真や作品を掲示されている方もおられる。		居室の環境作りについて、ご本人とも話し合いながら、ご本人にとっての心地よい空間となるよう、話し合いや工夫を重ねていかれることが期待される。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝の換気し更に掃除などでも窓を開けたり換気扇をつけたりしている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			台所には高の違う調理台を置いている。手すりやスロープ、段差の内容立てられている。		浴槽のまたぎが困難な方に対し工夫を検討した。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			会話の途中で割り込まない...などきをつけている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			庭には花壇・畑を作っている。季節の野菜を収穫したり、花を楽しんでいる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者さんが、何をいてもらいたいか、散歩したいのかを早くキャッチして職員が対応している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	午後、食後、しばらくソファーに休まれ、歌を口ずさまれたり、される。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ある程度は一人一人のペースに合わせて暮らしてもらい
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の良い時は、笑顔で対応されます。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	お天気のよい日は、散歩しています。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりの健康に気を付け変化あれば受診し対応しています。
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	その時々々の身体状況、要望にそって職員は介護支援をしていると思います。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族が求めていることは、その都度気を付けて対応に心がけています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	利用者さんの知り合いや地域の方のボランティアで、カラオケ、詩吟、演芸とかを来て頂いています。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議は、2ヶ月に1回行っている。地域の方や婦人会の方、利用者さん数名、職員を交えて行っていて、よいお話し合いができています。
98 職員は、生き活きと働けている	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職場では、テキパキと動いていると思います。行事ある時なども利用者を含めて楽しく生き活きと働けていると思う
99 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんが不穏状態におられる時は、職員が一對一に対応していると思います。
100 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家族が面会に来られた時には、利用者さんの身体状態とか食事の摂取状態等、報告しております。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

毎日利用者さんの、体操、機能訓練を2時間弱行っています。皆さん楽しみにしています。職員も一緒に参加しております。暖かい時には、園庭に出て陽にあたり、散歩等しております。月に一回の割り合いで、読み聞かせ、詩吟、大正琴とボランティアの方に来園して頂きます。利用者も楽しみにしています。職員も楽しく参加させて頂いております。